前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏  (法人	にあ	って	は名称)				法人にあっ	ては主たる	る事業所の	の所在地	)
名小川香	小川香料株式会社					〒 103-0023 所 東京都中央区日本橋4-1-11					
	部署	名:		E 部設備調	 果	121 21	(A) (B) ( ) (E)				
主たる業	-£	分類	16 業種名:	. ,							
		コード . 用 香				直素材を	顧客に供給	合して最終	 	毎用して	しいた
事業の概 要	食品用香料、香粧品用香料及びこれらの関連素材を顧客に供給して最終商品に使用してい だいている原料供給会社である。従業員数は約200名で第2種エネルギー管理指定工場に指 されている。										
	番号	ユー	工場	場等の名称	沵		所 在 地				
	1	岡	山工場		岡山県勝田郡勝央町太平台1-2			2			
県内の	2	岡	山物流センター			岡	山県勝田郡	郡勝央町プ	大平台8		
主 な 工場等											
上											
	I r			5001.0101.1		) = h10	0/2 550	250 /2 DL I		1 to tota	- 01.1
特定事業 の該当要			然料等原油換算1,							<b>換算3,00</b>	
ジ版当安		(•_	[場等の数	2	所	●単	両台数(②	談目の場	行)		台)
温室効果ガ	ブス <u>‡</u>	甚準 <sup>左</sup>	F度(平成 26	年度)	( 平成	30 )4	丰度排出量	目標年	度(令和	元	年度)
排出量			7,822 t			8,	088 t CO <sub>2</sub>			587 t (	$CO_2$
		番号 工場等の名称									
I	-		~	易等の名を	外		(平成	30 ) 4	年度排出		
		1	岡山工場		<u></u>		(半成	30 ) 4		463 t (	
主な工場	F		~		<u> </u>		(半成	30 ) 2		463 t (	CO <sub>2</sub>
主な工場 の排出量	- 等 -	1	岡山工場		7/ <sub>1</sub>		(平成	30 ) 2		463 t (625 t (62	CO <sub>2</sub>
	等 -	1	岡山工場		<b>7</b> N		(平成	30 ) 4		463 t 0 625 t 0 t 0	CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub>
	等 -	1	岡山工場		<b>W</b>		(平成	30 ) 4		463 t (625 t (62	CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub>
	等 -	1 2	岡山工場 岡山物流センタ	7—	<u> </u>			30 ) 2		463 t (625 t (62	CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub>
の排出量	等 -	1 2	岡山工場 岡山物流センタ 期間: 平	成 27	年度	~	令和 5	元 年度	7,	463 t ( 625 t ( t ( t ( t ( t ( 5 箇 <sup>4</sup>	CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub>
	等 - - - -	① ② 計画類	岡山工場 岡山物流センタ 期間: 平 総排出量基準	7—	年度 ) 年度削	~	令和 豆	元 年度 削減率	( [	463 t( 625 t( t( t( t( 5 箇 <sup>4</sup>	CO <sub>2</sub>
の排出量削減目標	等 - - - -	① ② 計画類	岡山工場 岡山物流センタ 期間: 平	成 27	年度	~ 減実績	令和 豆	元 年度	(	463 t( 625 t( t( t( t( 5 箇 <sup>4</sup>	CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub>
の排出量 削減目標 達成状況	等 - - - - - - - - - - - - -	① ② 計画類 □	岡山工場 岡山物流センタ 期間: 平 総排出量基準	· ·成 27 ( 30	年度)年度削2.1	%	令和 <i>う</i> 目標的 3.	元 年度 削減率 0 % 原単位当た	7, ( ☑ 達成 り排出量	463 t ( 625 t ( t ( t ( t ( 5 箇 <sup>4</sup>	CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> F度)
の排出量 削減目標 達成状? (原単位基標の削減目標	等 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	計画其口	岡山工場 岡山物流センタ 期間: 平 総排出量基準 原単位基準 果ガスの排出量とを 生産数量(千t)	が 成 27 ( 30 密接な関係 ガス排	年度 )年度削 2.1 をもつ値の内 出量(tCO2)	% 容 <u>基</u>	令和 j 目標能 3. 準年度	元 年度 削減率 0 % <sup>原単位当た</sup> (30	7, (       達成   り排出量   )年度	463 t( 625 t( t( t( t( 5 箇 <sup>4</sup> 目標達成	CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> CO <sub>2</sub> EEE  未達
の排出量 削減目標 達成状?	等 	① ② 計画類 □	岡山工場 岡山物流センタ 期間: 平 総排出量基準 原単位基準 果ガスの排出量とを 生産数量(千t) 手度 5.98	が 成 27 ( 30 密接な関係 ガス排	年度 ) 年度削 2.1 をもつ値の内	% 容 <u>基</u> 1	令和 う 目標能 3. 準年度 ,308	元 年度 削減率 0 % 原単位当た ( 30 1,28	7, ( ②達成 り排出量 )年度 1	463 t ( 625 t ( t ( t ( t ( 5 箇 <sup>4</sup> 目標達成 1, 269	CO2       CO2       CO2       CO2       CO2       EE
の排出量 削減目標 での選択して記 の選択して記入	等 の 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20	計画其「「」」	岡山工場 岡山物流センタ 期間: 平 総排出量基準 原単位基準 果ガスの排出量とを 生産数量(千t) E度 5.98 E度 5.98	が 成 27 ( 30 密接な関係 ガス排	年度 )年度削 2.1 をもつ値の内 出量(tC02)	% 容 <u>基</u> 1	令和 う 目標能 3. 準年度 ,308	元 年度 削減率 0 % <sup>原単位当た</sup> (30	7, ( ②達成 り排出量 )年度 1	463 t( 625 t( t( t( t( 5 箇 <sup>4</sup> 目標達成	CO2       CO2       CO2       CO2       CO2       EE
の排出量 削減目標 達成状? (原削減日標 の削減して基 が関係して基 がある。	等 の 2 2 2 2 3 4 6 7 8 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	1 ② 計画	岡山工場 岡山物流センタ 期間: 平 総排出量基準 原単位基準 果ガスの排出量とを 生産数量(千t) E度 5.98 E度 5.98	が ( 30 密接な関係 ガス排	年度 )年度削 2.1 をもつ値の内 出量(tC02)	% 容 <u>基</u> 1 t co	令和 5 目標能 3. 準年度 ,308 <sub>2/</sub> (千t )	元 年度 削減率 0 % 原単位当た ( 30 1,28	7, (	463 t( 625 t( t( t( t( 5 箇年 ]標達成 口 1,269 CO <sub>2</sub> /(千	CO2       CO2       CO2       CO2       CO2       EE

【削減状況の自己評価】 空調設備の増設や製造工程の複雑化・小ロット製造等の影響によりエネルギー使用量は増加傾向にあるが、各種高効率機器への計画的な更新や工程改善を進めエネルギー使用の削減に努めた。

	推進	L L	나	ы Т
12	PH: 11	<b>#</b> 17	マ井	:11
N 1	I ITT. J. F	<u> /-</u>	<b>⊢^</b> 111	ויו

省エネ法・環境マネジメントシステムによる全社的な取り組みと、各部署で環境目標をPDCAサイクルにより確実に実施していくことを基本に削減を検討する。

_【目標削減率達成のために実施	直した措置及び今後の取組】
工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場	(田30年度実施分) ・業務改善活動の推進による、省エネ活動の推進 ・休憩時間等のこまめな消灯 ・空調機の設定温度・不要ヶ所の空調停止、主要ヶ所の室温記録と運転監視 ・蒸気ボイラーの燃料切り替えによるCo2削減の検討 (今後実施予定分) ・照明設備の適切な運用と高効率機器への計画的な更新による省エネ ・効率的な生産方法の開発 ・高効率モーター、インバーター制御の採用検討 ・省エネトランスの採用検討 ・冷凍機・空調機の新冷媒への対応を含めた高効率機種への更新継続 ・再生可能エネルギーの導入検討 ・エアー漏れ、蒸気漏れ診断による漏れ箇所の特定と改修

【森林保全等吸収源対策への取組】						
県内で の取組	無					
その他	無					

<b></b> 五, 生	可能で	ネル	ノギー	-の導入	1
<del>++-</del> -		-/ \/	/ ~\	マノ空 ハ	

県内で の取組	無	
その他	無	

## 【その他特記事項】

特にな				
I				